

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成21年1月29日(2009.1.29)

【公表番号】特表2008-525427(P2008-525427A)

【公表日】平成20年7月17日(2008.7.17)

【年通号数】公開・登録公報2008-028

【出願番号】特願2007-547787(P2007-547787)

【国際特許分類】

A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/7088	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	11/06	(2006.01)
A 6 1 P	1/04	(2006.01)
C 0 7 K	16/18	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 K	31/7088	
A 6 1 K	39/395	D
A 6 1 K	39/395	N
A 6 1 K	37/02	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 P	37/00	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	29/00	1 0 1
A 6 1 P	11/06	
A 6 1 P	1/04	
C 0 7 K	16/18	Z N A

【手続補正書】

【提出日】平成20年12月2日(2008.12.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

N F - B 活性と関連する疾患の治療方法であって、それを必要とする対象に、N I K - H C 8 結合を調節することが可能である薬剤の治療有効量を与え、それによって、該対象におけるN F - B 活性と関連する疾患を治療する工程を包含する方法。

【請求項2】

前記NIK-HC8結合を調節することが、NIK-HC8複合体を破壊すること、またはその形成を妨害することによってもたらされる請求項1記載の方法。

【請求項3】

前記薬剤が前記HC8またはNIKをコードする内因性核酸配列に相補的なオリゴヌクレオチドである請求項2記載の方法。

【請求項4】

前記薬剤が抗体または抗体フラグメントである請求項2記載の方法。

【請求項5】

前記薬剤が、NIKを結合可能であるHC8由来アミノ酸配列を含むペプチドであり、該ペプチドが少なくとも5アミノ酸でかつ50アミノ酸以下の長さである請求項2記載の方法。

【請求項6】

前記薬剤が、HC8を結合可能であるNIK由来アミノ酸配列を含むペプチドであり、該ペプチドが5アミノ酸でかつ200アミノ酸以下の長さである請求項2記載の方法。

【請求項7】

前記NIK-HC8結合を調節することが、NIK-HC8複合体を安定化すること、またはその形成を増強することによってもたらされる請求項1記載の方法。

【請求項8】

前記薬剤が、NIKまたはHC8の少なくとも活性部分を発現することが可能なポリヌクレオチドである請求項7記載の方法。

【請求項9】

前記薬剤が、NIKまたはHC8の少なくとも活性部分を含むポリペプチドである請求項7記載の方法。

【請求項10】

前記薬剤がNIKインヒビターである請求項1記載の方法。

【請求項11】

前記NF-B活性と関連する疾患が、免疫疾患、炎症性疾患または癌である請求項1記載の方法。

【請求項12】

NIK-HC8複合体を破壊すること、またはその形成を妨害することが可能である抗体または抗体フラグメント。

【請求項13】

前記抗体または抗体フラグメントの抗原認識ドメインが、配列番号5に示されるアミノ酸配列のアミノ酸1～180または650～947によって含まれる請求項12記載の抗体または抗体フラグメント。

【請求項14】

200アミノ酸以下を含み、配列番号5の座標1～180または650～947によって示されるアミノ酸配列を含む単離されたポリペプチドであって、NIK-HC8複合体を破壊すること、またはその形成を妨害することが可能である単離されたポリペプチド。

【請求項15】

26Sプロテアソームの異常な活性と関連する疾患の治療方法であって、それを必要とする対象に、NIK-HC8結合を減少することが可能な治療有効量の薬剤を与え、それによって、該対象における26Sプロテアソームの異常な活性と関連する疾患を治療する工程を包含する方法。

【請求項16】

前記薬剤が、NIKのキナーゼ活性を阻害することが可能な分子、HC8のリン酸化変異体、およびNIKの非機能的誘導体からなる群より選択される請求項15記載の方法。

【請求項17】

NF-B活性または異常なプロテアソーム活性と関連する疾患を治療するために適切な薬物候補を同定する方法であって、NIK-HC8結合を調節することが可能な分子を同

定する工程を包含し、該分子が薬物候補である方法。

【請求項 1 8】

前記分子が、低分子化学物質、ポリヌクレオチド、オリゴヌクレオチド、アプタマー、ポリペプチド、ペプチドおよび抗体からなる群より選択される請求項1 7記載の方法。

【請求項 1 9】

N F - B 活性と関連する疾患を治療するための医薬の製造のための、N I K - H C 8 結合を調節することが可能な薬剤の使用。

【請求項 2 0】

前記 N I K - H C 8 結合が、N I K - H C 8 複合体を破壊すること、またはその形成を妨害することによってもたらされる請求項1 9記載の使用。

【請求項 2 1】

前記薬剤が、前記 H C 8 または N I K をコードする内因性核酸配列に相補的であるオリゴヌクレオチドである請求項2 0記載の使用。

【請求項 2 2】

前記薬剤が抗体または抗体フラグメントである請求項2 0記載の使用。

【請求項 2 3】

前記薬剤が N I K を結合可能である H C 8 由来のアミノ酸配列を含むペプチドであり、該ペプチドが少なくとも 5 アミノ酸でかつ 50 アミノ酸以下の長さである請求項2 0記載の使用。

【請求項 2 4】

前記薬剤が H C 8 を結合可能である N I K 由来のアミノ酸配列を含むペプチドであり、該ペプチドが 5 アミノ酸でかつ 200 アミノ酸以下の長さである請求項2 0記載の使用。

【請求項 2 5】

前記 N I K - H C 8 結合を調節することが、N I K - H C 8 複合体を安定化すること、またはその形成を増強することによってもたらされる請求項1 9記載の使用。

【請求項 2 6】

前記薬剤が N I K または H C 8 の少なくとも活性部分を発現することが可能であるポリヌクレオチドである請求項2 5記載の使用。

【請求項 2 7】

前記薬剤が N I K または H C 8 の少なくとも活性部分を含むポリペプチドである請求項2 5記載の使用。

【請求項 2 8】

前記薬剤が N I K インヒビターである請求項1 9記載の使用。

【請求項 2 9】

N F - B 活性に関連する疾患が免疫疾患、炎症性疾患または癌である請求項1 9記載の使用。